



祈願祭で無事故と誘客願う

猪苗代スキー場で安全祈願祭開催



玉串をささげ、今シーズンの安全を祈願する前後町長

猪苗代スキー場の安全祈願祭は12月2日、同スキー場「I・S・K」で開催されました。祈願祭には町内の関係団体やスキー場関係者ら約50人が出席、玉串をささげ、シーズン中の無事故と盛況を願いました。

神事後、鈴木宣夫猪苗代スキー場組合理事長が「環境は厳しいが、手を携え、1人でも多くの利用者を呼び込みたい」とあいさつ。前後町長は「攻めの観光で多くの誘客を図りたい」と話しました。同スキー場は、今季から中央エリアとミネロエリアが一体となり、マックアースリゾート福島が運営に当たります。

町と電友会が災害復旧協定

災害時に一刻も早い復旧を目指す



協定書を取り交わす前後町長と森口会長

町と町内の事業者団体「猪苗代電友会（森口和広会長：森口電気商会社長）」は11月29日、災害時に応急復旧工事協力の協定を結びました。調印式は同日、町役場で執り行われ、前後町長、森口会長と会計の渡部裕一さん（渡部電気工業社長）らが出席、協定書を取り交わしました。協定では、地震や風水害などの大規模災害が発生、もしくは発生する恐れがある場合、町は同会に資機材の提供や作業員の出動を要請できるなどとしています。

調印後、前後町長は「大規模災害への体制を整え、町民の安全安心の確保に努めたい」と話しました。

森口マキさんが満100歳に

いなわしろホームで知事賀寿贈呈



前後町長から賀寿を受け取る森口さん（中央）

12月10日に満100歳の誕生日を迎えた森口マキさん（堤崎）への知事賀寿贈呈式は同日、特別養護老人ホームいなわしろホームで挙行されました。萩尾正人会津保健福祉事務所副所長が、知事賀寿と記念品の会津漆器の木杯を贈呈。続いて前後町長と戸田忠義町老人クラブ連合会長が賀寿や記念品を贈った後、ひ孫の今井美希ちゃんらが花束やケーキなどを手渡しました。

気持が穏やかで何事にも我慢強い性格という森口さんは、若い頃は畑仕事や山仕事などもこなしていたそうで、体が丈夫。それが長生きの秘訣だそうです。

住警器の早期設置を訴える

消防署員らが街頭啓発活動を実施



買い物客にチラシなどを手渡す消防団幹部

会津地方広域市町村圏整備組合消防本部と猪苗代消防署の街頭啓発活動は12月19日、町内のヨークベニマル猪苗代店とリオンドール猪苗代店で実施されました。活動には消防署員の他、町消防団幹部や町婦人消防隊から約20人が参加。買い物客に防火を呼び掛けるチラシやティッシュなどを配り、火災予防と住宅用火災警報器（以下 住警器）の早期設置を呼びかけました。

署員らは「法律で義務化されたが、本町の住警器設置率はまだまだ低い。自分の命は自分で守るという意識を持ち、早期に住警器を設置してほしい」と真剣な表情で呼び掛けました。

心を潤す音色に酔いしれる

学びいなでいなわしろ音楽祭開催



猪苗代吹奏楽団と猪苗代高校吹奏楽委員会の演奏

猪苗代吹奏楽団が主催する「東日本大震災復興支援音楽祭2011 いなわしろ音楽祭」は12月10日、学びいなで開かれました。同楽団の他、福島県ばんだい荘あおば、猪苗代中学校吹奏楽部、同校3年2組、猪苗代高校吹奏楽部、翁島・千里・吾妻幼稚園など町内の団体に加え、陸上自衛隊郡山駐屯地音楽隊、中野坂上ウインドオーケストラなども参加。吹奏楽はもちろん、太鼓や合唱などさまざまな音楽が観客の心を癒しました。

会場入り口には震災復興支援のための募金箱も設置され、集められた浄財は町に寄付されました。

補助金の適正執行のために

町補助金等適正委が審議結果報告



前後町長（左）に審議結果を手渡す由井委員長（右）

町補助金等適正化委員会の由井忠幸委員長は12月16日、前後町長のもとを訪れ、委員会の審議結果を提出しました。

審議結果では、◎同一あるいは同種の団体に対する補助金については、効率・効果的な事業が行われるよう団体の統合や補助金の一本化に努めること◎町民の自発的な活動を促すため、自主財源の確保に鋭意努力され、団体の自主独立が図られるよう、補助金の効果と金額の適否などについて見直しをすること。事業効果に結びつかない経費は補助対象経費として認めないことなどを指摘。今後は、この結果に基づき補助金が調整される予定です。